

Q5 >> テクノロジー活用の方向性を教えてください。

A 最先端の技術の活用と外部機関との協働により、これまで以上にお客さまに寄り添った利便性の高いサービスの提供を目指してまいります。

〈みずほ〉は、メガバンクとしてこれまで築きあげてきた「顧客基盤」や「情報基盤」、そして「金融知見・技術」に強みを有しておりますが、更に「革新的な創造」、「先端テクノロジー」、「目利き力」について強みをもつ大手ベンダーやFinTech企業と連携することにより、新規ビジネスの創出やこれまで以上にお客さまに寄り添った利便性の高いサービスの提供を目指しております。

主な取り組みとしては、海外を含めた決済プラットフォーム構築、人工知能（AI）やビッグデータを活用した事務作業自動化のためのソフトウェア開発、サプライチェーンマネジメント^{※1}や貿易金融における業務効率化を目的としたブロックチェーン^{※2}の商用化等、新規ビジネスの創出や業務の高度化に取り組んでおります。

※1 生産・流通プロセスの全体最適化

※2 取引データ等を格納した「ブロックとブロック」を「チェーン」状に接続する技術

■ 活用する技術

ブロックチェーン (BC)	ビッグデータ
人工知能 (AI)	ロボティクス等



TOPIC デジタルコインの取り組み～福島・北九州において実証実験を開始～

〈みずほ〉は、統一規格のQRコード決済を促進することにより、日本におけるキャッシュレス社会を2020年までに進展させることを目指す「キャッシュレス構想」の実現性を検証するため、QR決済アプリを利用した実証実験を行っています。2018年6月より東邦銀行とともに、福島県の富岡町さくらモールとみおか内店舗（ダイユーエイト、ツルハドラッグ、ヨークベニマル）およびローソン、いわき駅前のファミリーマート、東京電力福島第一原子力発電所の食堂などでの実験を開始し、9月には北九州銀行や西日本シティ銀行、福岡銀行とともに、北九州市の小倉駅周辺の商店街・施設、リバーウォーク北九州や第一交通産業タクシーなどで実験を開始しました。いずれも12月末まで行う予定で、これによりキャッシュレスの推進に取り組むとともに、QRコード決済の利便性を検証します。



キャッシュレスの推進により、社会全体の現金管理コストの削減、決済情報の電子化による新たな収益源の創造、ユーザーへの新たなサービス提供、さらには海外決済事業者との連携によるインバウンドの取り込み拡大を目指します。

新社長のご紹介

さかい たつふみ 取締役
坂井 辰史 執行役社長 グループCEO

1984年より、当社グループの一員として、経営企画、投資銀行業務、国際業務等に携わり、みずほ証券株式会社取締役社長を経て、現職。
 趣味は読書。神戸高校OBとして先輩にあたる村上春樹の作品はほぼ読破。

